

(第5章) 日本人抑留者資料館長の再来訪

2018年10月4日(木)(舞鶴市)

■舞鶴市長表敬(対応: 多々見市長、堤副市長、山口副市長、瀬川産業振興部長、小谷観光まちづくり室長、山下舞鶴引揚記念館長、小島みなと振興・国際交流課長、通訳: アルトゥルススポーツ振興課 CIR)

スルタノフ館長一行は、市役所を訪問。市長表敬を行いました。多々見市長は「昨年、タシケント市にある日本人抑留者資料館を見学した際、スルタノフ館長が引き揚げの史実を次世代に伝えようという熱意に感銘を受けた。今回の滞在中、次代を担う子供たちをはじめ、市民との交流を深め、スルタノフ館長をはじめとするウズベキスタン国民が日本人抑留者の史実を継承する活動を多くの方に知っていただきたい」と発言。スルタノフ館長は「抑留者が帰国した時のうれしさなど様々な感情を映画で伝えたい」と述べました。



多々見市長、堤副市長、山口副市長と記念撮影



多々見市長にウズベキスタンの民族楽器を手渡す

■五老ヶ岳公園視察

日本人抑留者ドキュメンタリー映画「ひいらぎ2」撮影のため、五老ヶ岳公園を視察しました。



舞鶴湾を撮影



五老ヶ岳公園を視察

■舞鶴東ロータリークラブ例会参加

舞鶴東ロータリークラブ例会に参加し、スルタノフ館長が引揚が繋ぐウズベキスタンと舞鶴の縁について講演。



スルタノフ館長が講演



リソラットさんが日本語であいさつ

■舞鶴かまぼこ作り体験

舞鶴かまぼこ協同組合にて、「舞鶴かまぼこ」作りに挑戦。



「舞鶴かまぼこ」作りに挑戦



舞鶴かまぼこ協同組合の辻義雄専務理事と記念撮影

■日星高校交流夕食会（伊藤市議、真下市議、今西市議、市職員等関係者 4~5 人、日星高校 計約 20 人）

2016 年から交流のある日星高校にて、歓迎と交流のための夕食会に参加。リソラット・スルタノヴァさんと SNS で交流を続けている日星高校 OG の真下葉里さんも参加し、交流を深めました。



プロフなどウズベキスタン料理について説明



2 年前に撮影した時と同じポーズで撮影

2018 年 10 月 5 日（金）（舞鶴市）

■日星高校文化祭参加

日星高校の文化祭に参加。舞台上でスルタノフ館長が「ウズベキスタンの文化が紹介できうれしく思う。若者の交流が広がることを期待する」とあいさつした後、リソラット・スルタノヴァさん、モヒナボヌ・スルタノヴァさんが、それぞれウズベキスタンの民族舞踊を披露しました。日星高校の生徒たちからは、リソラットさんの誕生日を祝うサプライズもありました。



ウズベキスタンの民族舞踊を披露



日星高校の生徒と記念撮影

■大浦小学校訪問

その後、大浦小学校を訪問。1～3年生の児童28人による「大浦ふるさと祭り」の踊りで歓迎を受けました。一行は6年生児童12人と牛肉やタマネギなどをオリーブでいためて、ごはんに混ぜた「プロフ」、ヒヨコマメや肉などを煮込んだ「ガロフスープ」などウズベク料理の給食を楽しみました。その後は同校体育館で児童が合唱を披露しました。



大浦小児童などの出迎えを受ける



ウズベキスタン料理の給食で交流

■特別養護老人ホームグレイスヴィルまいづる訪問（対応：淡路施設長）

特別養護老人ホームグレイスヴィルまいづるを訪問。淡路由紀子施設長から施設の紹介を受けたほか、日本における超高齢社会の課題や介護の現状について説明を受け、スルタノフ館長は熱心に話を聞いていました。



施設内を見学



子供たちと交流

■市民有志交流夕食会

市政記念館のカフェで行われた市民有志交流夕食会に参加。親睦を深めました。



山口副市長が歓迎あいさつ



リソラットさんが琴の演奏に挑戦

■引揚記念公園及び平引揚棧橋で撮影

日本人抑留者ドキュメンタリー映画「ひいらぎ2」撮影のため、引揚記念公園、平引揚棧橋を視察。



平引揚棧橋で順番に鐘を鳴らす



舞鶴引揚記念公園で撮影

2018年10月6日（土）（舞鶴市）

■海上自衛隊棧橋、金剛院視察

日中は海上自衛隊棧橋や金剛院をめぐるなど市内を視察。



護衛艦の前で記念撮影



三重塔を背に記念撮影

■市長歓迎夕食会（対応：多々見市長、小谷観光まちづくり室長、山下舞鶴引揚記念館長、小島みなと振興・国際交流課長、坪内みなと振興・国際交流課係員、通訳：アルトゥルススポーツ振興課 CIR）

市長歓迎夕食会に参加。多々見市長は「舞鶴引揚記念館と日本人抑留者資料館が、抑留資料の相互展示を含む一歩前進した交流に繋げていきたい」と発言しました。



スルタノフ館長が舞鶴滞在の感想を述べる



モヒナボヌさんがパイ貝煮を味わう

2018年10月7日（土）（舞鶴市）

■平和祈念式典に参列

市が定めた「舞鶴引き揚げの日」を初めて迎えた7日、引揚記念公園で平和祈念式典を開催。一行も来賓として参列しました。式典後、スルタノフ館長は抑留に関する旧ソ連の公文書、写真などの資料を舞鶴引揚記念館に寄贈。スルタノフ館長は「抑留者が舞鶴湾で母国の風景に涙したという気持ちを理解した。彼らの苦境に立たされても人間性を失わない姿は私たちの日本人像であり日本人の誇りである」と述べました。



スルタノフ館長が抑留に関する資料を寄贈



ウズベキスタンの民族舞踊を披露

■引揚ゆかりの港めぐり遊覧船に乗船し撮影

北吸赤れんが棧橋から引揚ゆかりの港めぐり遊覧船に乗船。「ひいらぎ2」の撮影を行いました。



遊覧船から舞鶴湾を撮影



遊覧船を満喫

■引揚関係者夕食会

舞鶴引揚記念館にて、語りの会会員や引揚記念館職員などと夕食会を行いました。



語りの会会員など引揚関係者と夕食会で親睦

2018年10月8日（日）（宮津市）

■天橋立ビューランド、廻旋橋視察

舞鶴日程を終え、8日は、日本三景の一つである天橋立を視察し、その後広島へ向かいました。



廻旋橋から遊覧船を見送る

2018年10月9日（月）（広島市）

■広島平和記念資料館訪問（対応：志賀館長）

広島平和記念資料館を訪問。志賀賢治館長から施設や展示資料の説明を受けました。スルタノフ館長は展示資料の保存状態の良さに驚きを見せていました。また、リソラットさんは涙を流す姿を見せるなど、戦争や原子爆弾の被害の悲惨さを感じていました。志賀館長から「今後、展示物や展示の仕方等でお手伝いできることがあればぜひ相談に乗りたい」との発言。その後、原爆死没者慰霊碑の参拝及び献花を行い、原爆ドームを見学しました。



志賀館長から展示資料の説明を受ける



平和記念資料館職員と記念撮影



原爆投下の8時15分で止まった腕時計を見つめる



原爆ドームを見学

2018年10月10日（火）（大阪市）

■ラーゲル会の新家さん及び清水さんとの昼食会（新家さんへのインタビュー撮影）

タシケントのナボイ劇場の建設に関わった日本人抑留者（タシケント第四ラーゲル会）である新家苞さんと清水さんとの昼食会に参加。スルタノフ館長は新家さんから当時の日本人抑留者の働きぶりや生活の様子、舞鶴に引き揚げた際のエピソードについて聞き取りました。新家さんは「1945年から3年間、ナボイ劇場の建設に携わり、1949年12月2日に引揚船「高砂丸」で舞鶴に引き揚げた。引揚船から見た舞鶴湾はとても綺麗だった」と述べました。



新家さんから抑留当時の話を聞く



新家さん、清水さんと記念撮影

■日本ウズベキスタン協会との夕食会（川端理事長、永田会員出席）

日本ウズベキスタン協会の川端良子理事長、永田立夫会員との夕食会に参加。



川端理事長、永田会員と食事をしながら交流

2018年10月11日（水）（東京都）

■加藤文彦前駐ウズベキスタン日本大使との懇談

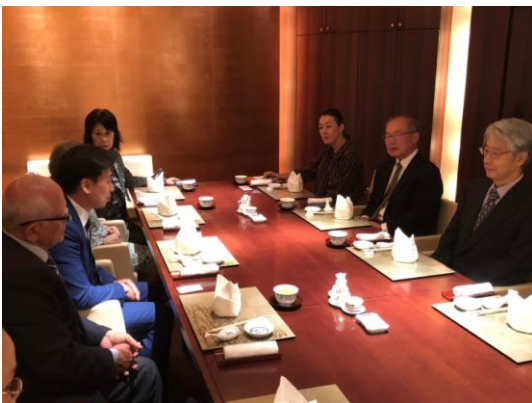
加藤文彦前駐ウズベキスタン日本大使（現・全国石油商連合会専務理事）と懇談。スルタノフ館長は加藤前大使に日本及び舞鶴訪問のきっかけを作って頂いたことに対し感謝の意を述べました。加藤前大使は「これからも日本とウズベキスタンとの関係がさらに発展していくよう努めたい」と述べました。



加藤前大使から歓迎を受ける

■日本ウズベキスタン協会主催の昼食交流会（鳶信彦会長他出席）

日本ウズベキスタン協会主催の昼食交流会に参加。スルタノフ館長は「タシケント市と舞鶴市が姉妹都市になることを願う」と発言。鳶会長は「舞鶴市が制定した舞鶴引き揚げの日はとても良い取り組み。来年の取り組みについても、マスコミへのアピールに協力したい」旨の発言がありました。



鳶会長と食事をしながら交流



お土産として軍人手帳を受け取る

■ファジロフ駐日ウズベキスタン大使との懇談

ファジロフ駐日ウズベキスタン大使と懇談。



ファジロフ大使に舞鶴訪問の様子を報告



議論を深める